

■運営委員会 委員長: 崔博坤(明治大) ■運営委員会幹事会 代表: 渡辺好章(同志社大) 副代表: 山中一司(東北大), 酒井啓司(東大) 委員: 梅村晋一郎(東北大), 荻博次(大阪大), 金井浩(東北大), 榎引淳一(東北大), 黒澤実(東工大), 小島誠治(筑波大), 近藤淳(静岡大), 中村健太郎(東工大), 橋本研也(千葉大), 蜂屋弘之(東工大), 松川真美(同志社大), 水谷孝一(筑波大), 渡部泰明(首都大) ■オブザーバ: 伊藤洋一(日大) ■アドバイザー・ボード: 香田忍(名古屋大) ■監事: 中川恭彦(山梨大), 門田道雄(東北大)

■実行委員会 委員長: 水谷孝一(筑波大) 副委員長: 梅村晋一郎(東北大) 委員: 伊藤洋一(日大), 荻博次(大阪大), 近藤淳(静岡大), 酒井啓司(東大), 松川真美(同志社大), 渡部泰明(首都大)

■現地実行委員会 委員長: 若槻尚斗(筑波大) 委員: 海老原格(筑波大), 小笠原英子(防衛大), 川村洋平(筑波大), 善甫啓一(筑波大), 宝田隼(東京理科大), 平田慎之介(東工大), 前田祐佳(筑波大), 吉岡正裕(産総研)

■論文委員会 委員長: 近藤淳(静岡大) 副委員長: 松川真美(同志社大)

委員: 秋山いづき(同志社大), 梅村晋一郎(東北大), 荻博次(大阪大), 小田川裕之(熊本高専), 垣尾省司(山梨大), 金井浩(東北大), 工藤すばる(石巻専修大), 工藤信樹(北大), 崔博坤(明治大), 酒井啓司(東大), 椎名毅(京都大), 志村拓也(海洋研究開発機構), 竹内真一(桐蔭横浜大), 田中秀治(東北大), 土屋隆生(同志社大), 土屋健伸(神奈川大), 中村健太郎(東工大), 野村英之(電通大), 橋本研也(千葉大), 長谷川英之(富山大), 蜂屋弘之(東工大), 原田明(九州大), 原田久志(明星大), 疋田光孝(工学院大), 榊田晃司(農工大), 松岡辰郎(名古屋大), 水谷孝一(筑波大), 三原毅(東北大), 森和義(防衛大), 森田剛(東大), 守本純(防衛大), 安井久一(産総研), 山田晃(農工大), 山田顕(東北学院大), Oliver B. Wright(北大), 渡部泰明(首都大), Moojoon Kim(Pukyong National Univ.)

■運営委員 青柳学(室蘭工大), 赤尾慎吾(東北大), 朝倉義幸(本多電子), 浅田隆昭(村田製作所), 東隆(東大), 足立和成(山形大), 阿部洋(NECT-キーン), 荒川元孝(東北大), 碓哲雄(宮崎大), 生嶋健司(農工大), 石井孝明(山梨大), 井原都夫(長岡技大), 井上浩(放送大), 今野和彦(秋田大), 岩瀬良一(海洋研究開発機構), 上田正則(太陽誘電), 海老原格(筑波大), 遠藤信行(神奈川大), 大川浩一(秋田大), 大平悦三(桐蔭横浜大), 大野正弘(千葉工大), 大森達也(千葉大), 岡林一郎(コニカミノルタ), 小笠原英子(防衛大), 興津健二(大阪府立大), 小倉幸夫(ジャパンプローブ), 小原良和(東北大), 鎌倉友男(電通大), 神山直久(GEヘルスケア・ジャパン), 唐澤弘行(富士フィルム), 川畑健一(日立製作所), 神田岳文(岡山大), 菊池年晃(防衛大), 木村友則(三菱電機), 小池義和(芝浦工大), 黄啓新(神奈川工科大), 小塚晃透(愛知工業大), 後藤信夫(徳島大), 小林和人(本多電子), 小林牧子(熊本大), 小山大介(同志社大), 近藤隆(富山大), 西條芳文(東北大), 齋藤敦史(芝浦工大), 畑中信一(電通大), 林高弘(京都大), 平尾雅彦(大阪大), 平田慎之介(東工大), 平野太一(東大), 飛龍志津子(同志社大), 藤井知(沖繩高専), 星宮務(東北学院大), 細川篤(明石高専), 細田真妃子(東京電機大), 増山裕之(鳥羽高専), 松田理(北大), 三浦光(日大), 三須幸一郎(鳥取大), 美谷周二朗(東大), 三留秀人(産総研), 南出章幸(金沢高専), 宮崎尚(防衛大), 屋内伸治(沖電気工業), 谷津田博美(日本無線), 柳谷隆彦(早稲田大), 山川誠(京都大), 山口匡(千葉大), 山越芳樹(群馬大), 山本健(関西大), 山本弘(日立建機), 山本満(日本電気), 山本泰司(日本電波工業), 吉岡正裕(産総研), 若槻尚斗(筑波大), 若月昇(石巻専修大), 和高修三(三菱電機湘南エレクトロニクス), 渡邊佳孝(海洋研究開発機構), Bong-Chae Kim(Korea Inst. of Ocean Sci. and Tech.), Jungsoon Kim(Tongmyong Univ.), Jeehyong Khim(Korea Univ.), Kang-Lyeol Ha(Pukyong National Univ.), Yuu Ono(Carleton Univ.), Yongrae Roh(Kyungpook National Univ.), Jong Rak Yoon(Pukyong National Univ.)

■顧問 大谷隆彦, 岡野光治, 尾上守夫, 門田道雄, 川端昭, 斎藤繁実, 清水康敬, 高木堅志郎, 中鉢憲賢, 辻野次郎丸, 富川義朗, 永井啓之亮, 中川恭彦, 中村昭, 中村信良, 根岸勝雄, 野村浩康, 畑明延, 森榮司, 山口正恒, 山之内和彦

シンポジウム開催期間 11月5日(木)~11月7日(土)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 講演申込締切 | 締め切りました。 |
| 論文集原稿(A4x2頁)締切 | 8月26日(水) 24:00JST |
| 講演者参加申込・支払締切 | 10月 6日(火) |
| 参加費事前割引支払締切 | 10月21日(水) |
| JJAP論文特集号原稿締切 | 11月15日(日) 24:00JST |

シンポジウム会場

つくば国際会議場 (エポカルつくば)

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3

<http://www.epochal.or.jp/>

○つくばエクスプレス/つくば駅 徒歩10分

○バス/つくばセンター 徒歩8分



期間: 平成27年11月5日(木)~7日(土)
 会場: つくば国際会議場 (エポカルつくば)
 (茨城県つくば市)
<http://use-jp.org>

第36回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム

主催: 超音波エレクトロニクス協会USEシンポジウム運営委員会

協賛: 映像情報メディア学会/応用物理学会/海洋音響学会/韓国音響学会/精密工学会/超音波工業会/
 電気学会/電子情報通信学会/日本音響学会/日本化学会/日本学術振興会弾性波素子技術第150委員会/
 日本機械学会/日本金属学会/日本生体医工学学会/日本ソケミストリー学会/日本超音波医学会/
 日本非破壊検査協会/日本物理学会/日本分光学会/日本分析化学会/日本分析機器工業会/
 非線形音響研究会 (申請中を含む)

USE ホームページから「超音波用語辞典 (電子版)」が自由に閲覧できます。

USE 2015

ごあいさつ

USE2015 運営委員長

崔 博坤(明治大学)

本シンポジウムは、超音波関連分野の基礎から応用に携わる研究者が一堂に会し、発表と討論を通じて互いの成果を共有し、学術の進展に寄与することを目的として1980年12月に第1回が開催されました。以来、この基本理念を堅持しながら毎年開催され、今年は第36回目を迎えます。本シンポジウムで得られた多くの学術的成果は、ProceedingsをWeb公開するとともに、学術論文として応用物理学会英文誌 Japanese Journal of Applied Physics の特集号に毎年収録され、世界的にも高い評価を受けています。また、この学術交流の場を、国内外を問わず、より多くの研究者・技術者に提供するために、Proceedingsの英文化、英語口頭セッションの設置等、国際化を進めてまいりました。その結果、韓国、台湾、中国、欧米などからの参加者は10%以上を占め、アジアにおける超音波研究発表の代表的な会議となりました。

当初は韓国釜山において開催する予定でしたが、諸事情によりつくば市において、2015年11月5日(木)～7日(土)に開催することになりました。予定変更によりご迷惑をおかけしましたが、これまで以上に多くの皆様ご参加されるようお願い申し上げます。

■超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、Japanese Journal of Applied Physicsに論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award)を贈呈します。

■超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は発表者)で、シンポジウム開催翌年(今回は2016年)の3月31日未満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award)を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申込時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウムで行いません。

USE 2015

論文募集分野

1. 超音波物性, 材料, フォノン物理, 光超音波エレクトロニクス
2. 測定技術, 映像法, 非破壊評価
3. 圧電デバイス(バルク波デバイス, 弾性表面波デバイス)
4. 非線形, 強力超音波, ソノケミストリー
5. 生体医用超音波
6. 海洋音響

JJAP 特集号論文投稿について

(Web投稿先は講演採択者にお知らせします。)
論文委員長 近藤 淳(静岡大)

【論文関係問合せ先】 program@use-jp.org

近藤 淳(静岡大)
Tel/Fax: 053-478-1221

仙台共同印刷(投稿Webサイト技術サポート)
Tel: 022-236-7161 Fax: 022-236-7163

~~■講演申込(8月3日(月)24:00JSTまで) USEホームページから申し込んで下さい。この申し込みデータは論文委員会において採否決定に使われます。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。USE2015は締め切りしました。詳しくは(題名, 氏名は日本語表記)。また、超音波シンポジウム奨励賞の申請者は講演申込とともに申請登録を忘れずに行ってください。~~

■講演論文集の原稿(8月26日(水)24:00JSTまで) 文字化けを防ぐためdoc, pdf形式の両方をホームページからご提出下さい。執筆要綱, テンプレートもホームページをご参照下さい。過去の講演論文集はUSEホームページから閲覧することができます。講演論文は、シンポジウム終了6か月後ごろにホームページに公開します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。

■講演採択の決定 論文委員会で審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月中下旬ごろに電子メールで講演申込者に配信予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演登録料支払(10月6日(火)まで) 講演原稿が採択された講演者は、必ず期限までに参加申込を済ませ、参加費および講演登録料(1件5,000円)をお支払い下さい。お支払いの際は講演者名義で発表1件ごとにお支払い下さい。

■JJAP特集号論文の原稿(11月15日(日)24:00JSTまで) 講演が採択され、USEにて発表の方はJJAP(Japanese Journal of Applied Physics)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿はWebで行いますが、投稿先URL, 投稿要領はシンポジウム講演の採択通知後にお知らせします。

USEホームページ <http://use-jp.org>

USE 2015

USE 懇親会

日時: 11月6日(金) 18:00～20:00

会場: オークラフロンティアホテル
つくばアネックス「昇」

会費: 一般 6,000円 学生 4,000円

総合問合せ先

USE2015 運営委員会幹事会
現地実行委員長 若槻 尚斗(筑波大)
steering@use-jp.org

■参加申込 参加される方はUSEホームページ上でアカウントを取得し、作成されたマイページ上からお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。懇親会費、講演登録料も支払えます。支払いはクレジットカードまたは専用の郵便振替用紙を用いて参加者一人ずつ行ってください。所属機関から郵便振替で送金される場合は、振替用紙に参加者ご本人の氏名を明記して下さい。

郵便振替口座番号: 00970-4-235199 加入者名: NPO法人 超音波エレクトロニクス協会
クレジットカード払い方法についてはUSE2015ホームページをご参照ください。ホームページからの参加申し込みは会期前日まで可能ですので、できる限り申込を済ませてから会場にお越し下さい。また、10月21日(水)までに参加費を送金される場合は割引価格が適用されますので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。それ以降は会期当日、現金でお支払い下さい。(JJAP購読者の種別はありません。)

■参加費 10月21日(水)まで: 15,000円(一般) 3,000円(学生) 5,000円(retired*)

10月22日(木)以降: 20,000円(一般) 5,000円(学生) 5,000円(retired*)

(値下げしました。)

*retired 大学、企業等を退職されて所属の無い方

講演者につきましては、10月6日(火)までに参加費・講演登録料のお支払いがない場合は、講演を取り消させていただきます。一般参加費には講演論文集とJJAP特集号(CD-ROM・刊行後送付)の代金が含まれますが、学生参加費・retired参加費には講演論文集のみ含まれます。当日欠席の場合は後日、論文集を郵送します。また、今回一般参加申込みをされた方には次回のシンポジウム案内を差し上げる予定です。